

赤潮予報 R1-9号

令和2年2月4日
水産試験場漁場環境研究部

1 知多湾・渥美湾（調査日：2月3日）

（1）現況

海面の着色は確認されませんでした。湾全体で表底層ともにプランクトンが多くなっています。ユーカンピアが湾全域で確認され、最高密度はR3の底層の3,495cells/mLでした。表層のクロロフィルaの平均は知多湾 12.7 μ g/L、渥美湾 9.9 μ g/Lで、知多湾は平年並み、渥美湾は平年を下回っていました。

表層の平均水温は知多湾 11.3 $^{\circ}$ C、渥美湾 8.9 $^{\circ}$ Cで、平年よりも知多湾は1.9 $^{\circ}$ C、渥美湾は2.4 $^{\circ}$ C高くなっていました。

表層の栄養塩類の平均は、知多湾の窒素は平年並みでリンは平年を下回り、渥美湾の窒素は平年並みでリンは平年を上回っていました。

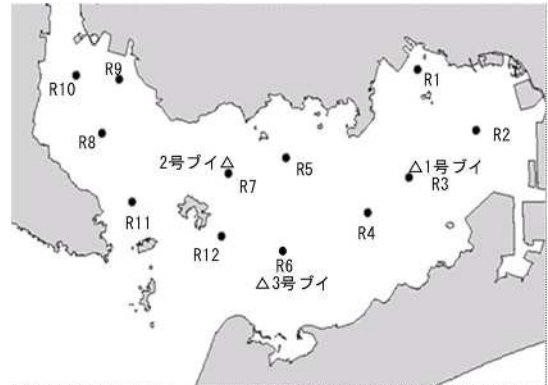


図2 調査点及び赤潮発生海域

（2）予測（予測期間：2月上旬～下旬）

〔赤潮〕赤潮が発生する可能性があります。

〔栄養塩〕減少するでしょう。

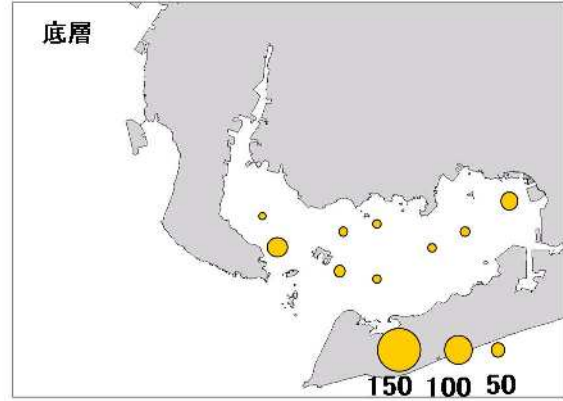
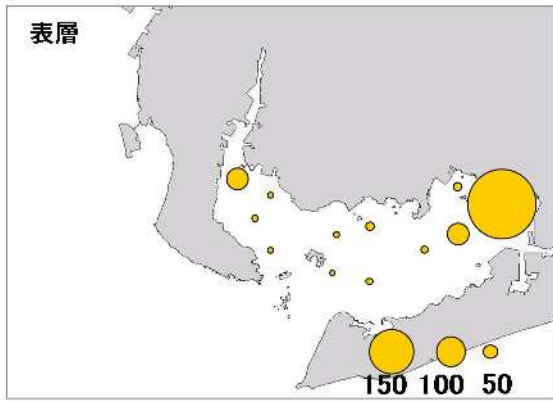
三河湾海況自動観測ブイのクロロフィルaのデータを見ると1月中旬以降、中底層を中心にプランクトンが増殖しており、栄養塩は少ないものの、プランクトンが多い状況がしばらく継続すると考えられます。

また気象庁によれば予測期間中の降水量は平年並みで、降雨の都度、栄養塩は一時的に増加すると考えられますが、プランクトンに消費されて減少するでしょう。

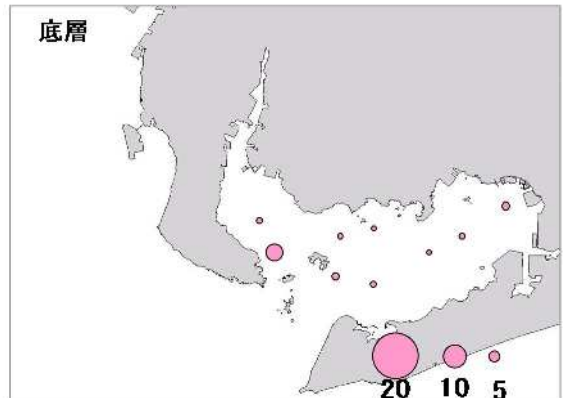
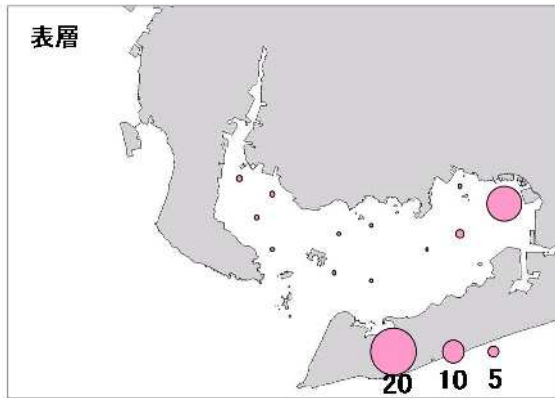
表2 令和2年2月3日赤潮調査結果（知多湾・渥美湾）

		採水層	水温 °C	塩分	アンモニア μg/L	亜硝酸 μg/L	硝酸 μg/L	三態窒素 μg/L	リン酸態リン μg/L	クロロフィルa μg/L
知多湾	R8	0m	11.4	32.4	17.3	2.4	4.5	24.2	2.4	13.8
		5m	11.3	32.4	19.8	1.5	4.5	25.7	2.7	16.8
		底層	11.4	32.5	16.9	4.3	8.3	29.5	3.0	15.1
	R9	0m	11.8	32.4	12.2	2.9	9.0	24.0	3.0	13.3
	R10	0m	11.8	29.8	21.3	4.9	49.3	75.4	3.1	10.4
	R11	0m	10.4	31.7	16.8	2.7	4.5	24.0	2.3	13.4
底層		12.0	32.8	21.3	13.8	35.5	70.7	7.5	6.3	
平均 (平年値) (前回)	0m	11.3 (9.4) (12.0)	31.6 (32.0) (31.4)	16.9 (16.5) (31.8)	3.2 (4.0) (10.9)	16.8 (64.0) (72.7)	36.9 (84.5) (115.5)	2.7 (4.9) (14.7)	12.7 (12.5) (3.5)	
渥美湾	R1	0m	8.9	30.9	17.6	3.4	12.2	33.2	2.3	8.8
		底層	8.1	29.0	71.5	11.6	146.2	229.2	15.4	3.7
	R2	0m	8.8	30.8	35.8	6.0	22.5	64.4	4.0	21.0
		5m	7.9	29.9	31.9	6.1	36.0	74.0	4.2	9.7
		底層	8.5	30.6	25.7	4.3	13.5	43.6	2.3	12.2
	R3	0m	9.7	31.6	27.7	2.8	8.2	38.7	2.9	24.5
		底層	8.5	30.7	15.8	3.0	9.1	27.9	1.9	11.2
	R4	0m	10.1	31.9	21.6	3.1	7.2	31.9	2.7	16.6
		底層	9.1	31.3	19.3	3.9	7.4	30.6	2.1	8.9
	R5	0m	9.6	31.6	23.0	1.7	5.5	30.2	2.3	11.7
		底層	9.8	31.7	18.8	2.4	5.2	26.5	2.1	12.3
	R6	0m	10.9	32.3	22.0	3.7	8.4	34.0	3.1	12.3
		底層	9.3	31.4	15.3	1.9	6.2	23.4	2.1	12.9
	R7	0m	9.4	31.5	18.9	1.7	9.8	30.4	1.8	13.2
		5m	10.8	32.2	22.3	4.5	6.3	33.1	2.9	35.8
底層		9.9	31.7	14.3	2.5	6.1	22.9	2.2	12.0	
R12	0m	10.1	31.8	17.7	2.3	5.7	25.7	2.3	13.5	
	5m	11.2	32.5	26.0	4.5	10.9	41.3	3.6	10.1	
	底層	8.9	30.8	25.6	4.3	28.6	58.4	4.0	9.9	
平均 (平年値) (前回)	0m	8.9 (6.5) (9.7)	30.8 (30.9) (31.1)	25.6 (12.8) (30.3)	4.3 (4.5) (5.6)	28.6 (31.1) (28.2)	58.4 (48.3) (64.1)	4.0 (1.5) (10.5)	9.9 (14.9) (5.5)	

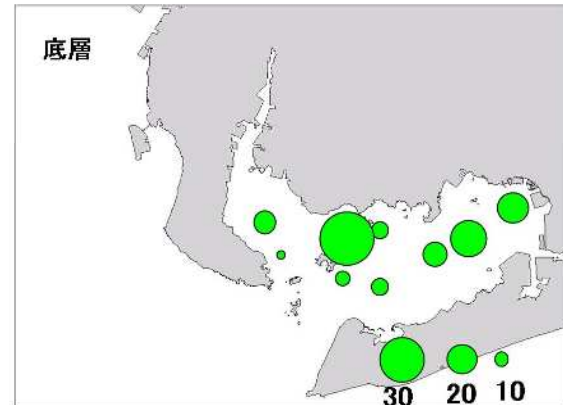
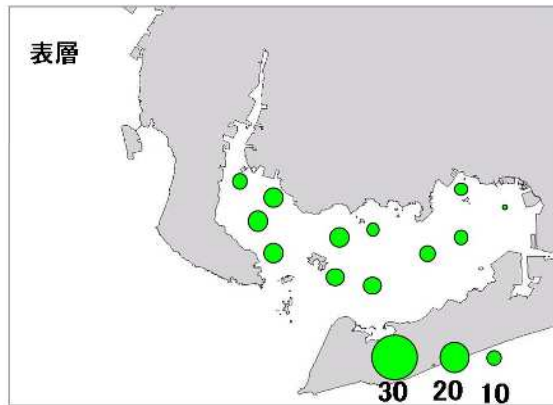
・クロロフィルとは植物プランクトンの色素のことで、相対的なプランクトン量が分かります



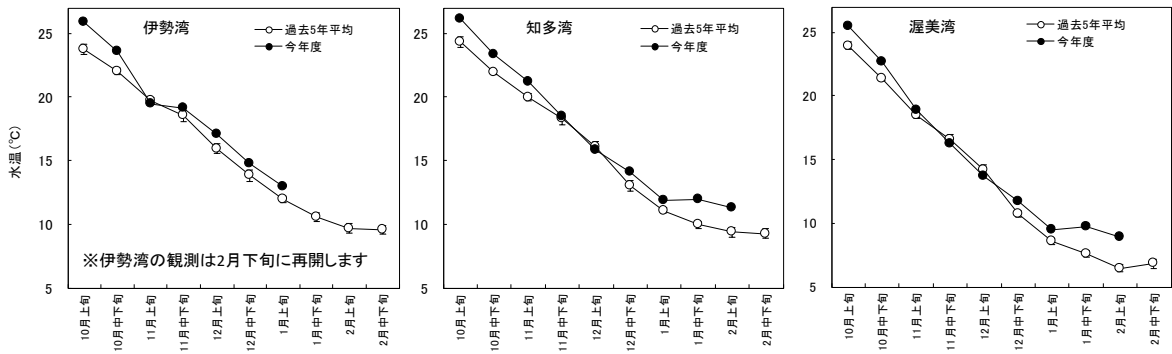
三態窒素の分析結果($\mu\text{g/L}$)



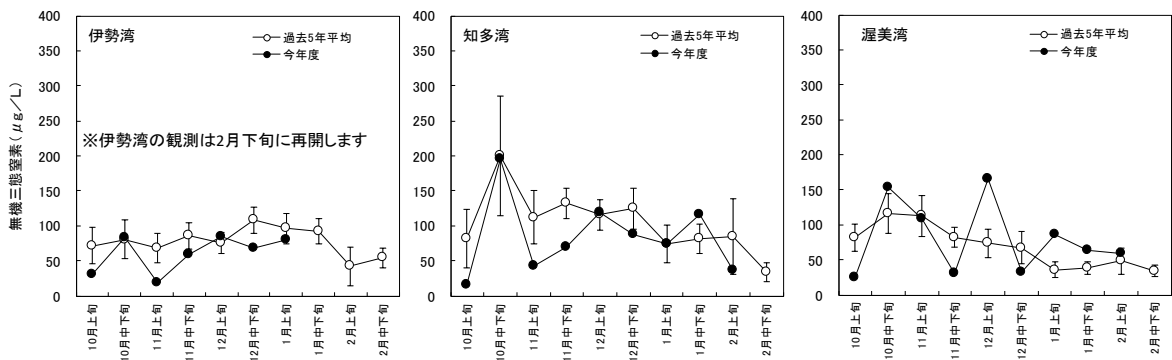
リン酸態リンの分析結果($\mu\text{g/L}$)



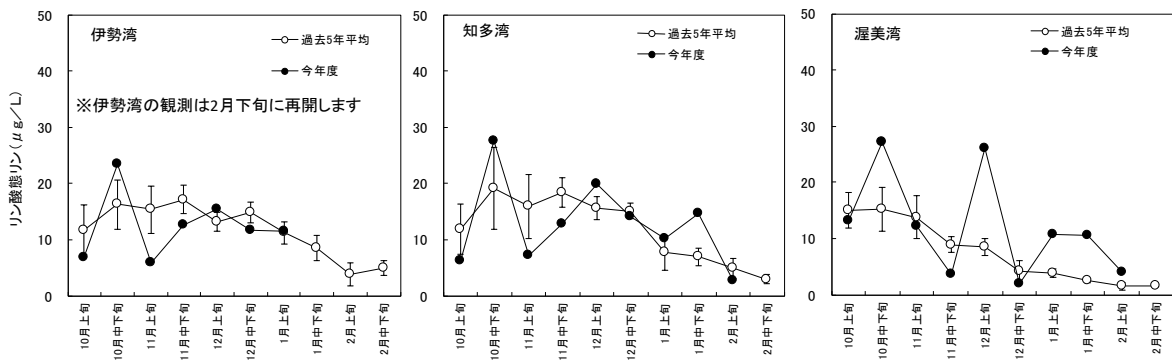
クロロフィルaの分析結果($\mu\text{g/L}$)



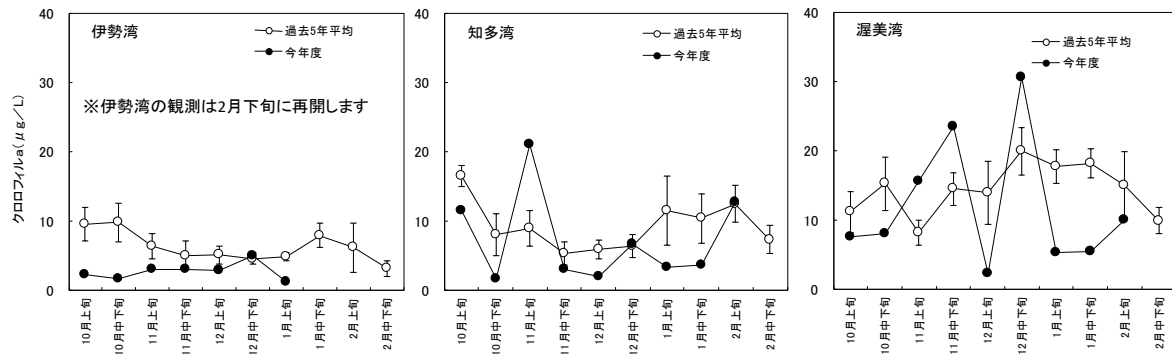
各湾表層の平均水温の推移



各湾表層の三態窒素の推移



各湾表層のリン酸態リンの推移



各湾表層のクロロフィルaの推移

注)各図中の過去5年平均値のバーは、95%信頼区間を示します。